

1 PLAN(目的・概要)

建設整備事業

政策名	安全	28年度事業・施策評価結果			責任者	建設部 工事課長 施設工事担当課長
施策名	港の安全性・信頼性の向上	成果	コスト			
事務事業名	中川口通船門の地震・津波対策	継続	維持	維持	連絡先	052-654-7937
目的	対象(誰・何を)	中川口通船門			連携課	施設事務所、港湾工事事務所
	意図(どういう状態にしたいか)	耐震補強を行い、地震・津波に対する安全性を向上します。				
概要	中川口通船門の地震・津波対策として、門扉の補強工事や、既設の躯体について、耐震補強工事を行います。				事業期間	平成25～29年度
事業着手時点の評価	補強対策を行うことにより、機能の強化に併せて住民及び企業の生命・財産を守ります。				実施義務	<input type="checkbox"/> 有 <input checked="" type="checkbox"/> 無
29年度の実施予定	中川口通船門の前扉室及び後扉室について耐震補強工事を実施します。				関連シート	

2 DO(実施)

29年度に実施した内容・結果	中川口通船門の前扉室右岸及び後扉室右岸について耐震補強工事を完了しました。また、前扉室左岸及び後扉室左岸について耐震補強工事を進めましたが、想定外の地中障害物により目標通り完了できませんでした。					
コスト	単位	27年度	28年度	29年度	合計(25年度～)	備考(費用の増減理由等)
工事費	千円	136,952	567,343	787,167	1,174,811	
人件費	千円	6,868	16,305	17,461	33,370	
合計	千円	143,820	583,648	804,628	1,208,181	

3 CHECK(検証)

指標名		27年度	28年度	29年度	最終目標	29	指標の説明・目標値の考え方	外部要因
既設躯体への耐震補強工事完了までの進捗状況(全4工程) (進行管理型)	目標	3	3	4	4(累計)		既存の躯体への耐震補強工事の進捗状況 ①耐震性の検証②設計③工事着手④工事完了	
	実績	3	3	3				
	事業進捗状況(29年度)			順調・ <u>やや遅れ</u> ・遅れ				
目標の達成度に対する評価(外部要因等を踏まえた)	前扉室左岸及び後扉室左岸の耐震補強工事については想定外の地中障害物等により、施工内容を見直し、年度内完了ができなくなったことから、耐震補強工事の進捗にやや遅れが生じております。							
必要性・有効性・効率性の検証	評価	評価に関する説明						
必要性	○	地震・津波対策は、背後地域の生命・財産を守るため必要な事業であり、防災上のニーズも高いと考えております。						
有効性	○	耐震補強を行い、地震・津波に対する安全性を向上することは、上位施策である「港の安全性・信頼性の向上」に貢献すると考えております。						
効率性	○	本事業は、施工中であるため、成果の評価は対象としておりません。						

4 ACTION(取組)

施策評価結果	30年度以降の方向性		判断理由
	成果	コスト	
延伸	拡大	維持	想定外の地中障害物等により、前扉室左岸、後扉室左岸において、平成29年度完了に至らず、平成30年度に確実に整備を完了するため。 * 今回の評価にて、事業完了年度を延伸(29→30年度)
課題			30年度以降の取組
背後地の安全性の向上には必要不可欠な事業であり、継続的に事業を進めていく必要があります。			中川口通船門は、平成30年度の完了を目途に躯体の耐震補強工事を着実に推進していきます。